別添10-1

比布町観光施設経営戦略

団　体　名	:	比布町
事　業　名	:	比布町観光事業
策　定　日	:	平成29年3月
計 画 期 間	:	平成28年度～平成37年度

1. 事業概要

（1）事業形態等

法適 （全部適用・一部適用） 非適の区分	非適	事業開始年度	昭和47年度
事業の種類	観光施設事業（索道）	施設名	ぴっぷスキー場
職員数	2人		
事業の内容	ぴっぷスキー場は、斜長3,836mで、6本の索道に616個の搬器と1本のロープリフトを有し、冬期間のみ営業している。		
年間利用状況 ※単位を明記すること ※過去3年度分を記載	H25　775,719 人	H26　704,349 人	H27　641,540 人
経常収支比率 （又は収益的収支比率）	H25　120.7 %	H26　134.6 %	H27　117.3 %
経費回収率 ＊ ※過去3年度分を記載	H25　97.5 %	H26　98.8 %	H27　68.0 %
民間活用の状況	ア　民間委託	なし	
	イ　指定管理者制度	なし	
	ウ　PPP・PFI	なし	

（2）料金形態

	区分	大人	小人	区分	大人	小人
料金の概要・考え方	1回券	200円	170円	3時間券	1,900円	1,600円
	回数券（12回）	2,000円	1,700円	5時間券	2,500円	2,000円
	1日券	3,000円	2,200円	ナイター券	1,200円	1,000円
	団体1日券	2,700円	2,000円	シーズン券	39,800円	24,800円

（3）施設を取り巻く環境等

本施設は、国道40号及び比布北インターチェンジ付近に位置し、本町の観光エリア「良佳村」エリア内に設置されている。
「良佳村」には、温浴施設「良佳プラザ・遊湯ぴっぷ」のほか、パークゴルフ場やキャンプ場を中心としたレクリエーション施設「グリーンパークぴっぷ」、民間宿泊施設などが営業されており、年間20万人程度の観光客が訪れている。
冬期間には、スキー学校のほか、民間飲食店やレンタルスキー店も開業し、スキー場を中心とした経済活動が行われている。

2. 経営の基本方針

1 利用者の安全を最優先したリフト運行
（1）教育訓練等を通した従業員の知識技能の向上
（2）施設の定期点検の実施及び索道整備記録簿の作成による安全の確認
（3）ヒヤリハット事案等の徹底した情報共有による事故の未然防止

2 ファミリー層を中心に幅広いニーズに対応した営業戦略
（1）初級者から上級者にも対応したゲレンデの整備
（2）幼児専用のスペースを確保した休憩施設の運営
（3）競技者のニーズに応えた全日本スキー連盟公認コースの確保

3 計画的かつ効率的な運営
（1）整備計画に基づいた索道施設の整備
（2）施設の統廃合を実施した効率的な運営
（3）独立採算を機軸とした収入の確保
（4）他の民間施設と連携した集客とサービスの充実

3. 投資・財政計画（収支計画）

（1）投資・財政計画（収支計画）：別紙のとおり

（2）投資・財政計画（収支計画）の作成に当たっての説明

①収支計画のうち投資についての説明

○平成28年度…センターハウス建設・第2リフト原動機更新・ナイター照明更新[684,900千円]
○平成33年度…圧雪車更新[30,000千円]

②収支計画のうち財源についての説明

○平成28年度…リフト使用料改定
○平成31年度…消費税率の改定

③収支計画のうち投資以外の経費についての説明

○職員給与費については、現在の配置により算定し、人事異動は考慮していない。
○建設改良費については、施設の使用頻度により前倒しして整備する場合がある。

（3）投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

○リフト使用料収入のほか、企業広告収入について検討する。 ○良佳村エリア全体の再整備計画策定について検討する。

①今後の投資についての考え方・検討状況

投資の平準化に関する事項	○適切な維持管理を行い、単年に過度の投資とならないよう計画的に執行し、負担の平準化を図る。
施設等の統合・縮小・廃止に関する事項	○分散した施設の統廃合やリフトの効率的な配置などにより、維持管理経費の節減を図る。
防災・安全対策に関する事項	○安全を第一とした施設の維持管理を徹底するとともに、従業員の教育訓練を実施し、事故の防止を図る。
民間の活力の活用に関する事項（PPP・PFI　など）	○利用者のサービス向上を図るため、必要に応じて民間活力の活用について検討する。
その他	

②今後の財源についての考え方・検討状況

料金単価に関する事項	○近隣類似施設の状況を的確に把握しながら、健全な運営を行うための料金単価を設定する。
利用状況に関する事項	○旭川市など近郊の利用者を中心に、家族や友人同士、シニア層などが何度も訪れたくなる施設運営を目指す。
繰入金に関する事項	○独立採算を基本とするが、良佳村エリア全体の振興に必要があれば、一般会計から最小限の繰入れを行う。
資産の有効活用に関する事項	○冬期間のみの施設であることから、通年利用について検討する必要がある。
その他	

③投資以外の経費についての考え方：・検討状況

民間の活力の活用に関する事項 （指定管理者制度、PPP・PFIなど）	○良佳村エリア内の一部の施設は指定管理者制度を導入しており、今後も必要に応じて民間活力の活用について検討する。
職員給与費に関する事項	○一般会計職員に準じた給与体系とする。
委託費に関する事項	○安全を第一とし、サービス低下を招かないよう、直営と委託を適切に分担する。
その他	

4. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供する サービス自体の必要性	○本町の唯一の観光エリア内に設置されており、農業を基幹産業とする本町において、冬期間の農業者の雇用の場としても重要な役割を果たしている。 ○本施設に付随する民間事業者が多くあり、町内経済に大きな影響を及ぼしている。 ○冬季屋外スポーツを提供する場として、健康増進のほか、競技者育成の観点からも施設の必要性は高い。
公営企業として実施する必要性	○雪に閉ざされる北国において、冬期間における屋外スポーツを楽しめる場を提供し、健康の増進と地域コミュニケーションの活性化を図るうえで必要である。 ○指導者の育成や少年団活動の支援など、一年を通したさまざまなスポーツ環境を整える一環として、当施設の役割は重要である。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、 更新等に関する事項	○本経営戦略は10年間の計画とするが、投資・財政計画については毎年見直しを行う。 ○中間年（平成32年度）に事後検証を実施するが、情勢の変化を的確に把握し、必要に応じて検証する。